キャラクター名: ミヒャエル＝シューベルク

プレイヤー名:

種族	ハイマン	種族特徴	デジャヴ、魔法の申し子		
生まれ	練体士	性別	男	年齢	8歳
冒険者Lv	17	経歴	体のどこかに刺青がある。		
経験点	4830		妖精と友達だった。		
			始まりの剣を求めている。		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	8	器用度	9	84		101 + 2	17
		敏捷度	6	5		19	3
体	6	筋力	10	10		26	4
		生命力	2	15		23	3
心	13	知力	6	72		91 + 2	15
		精神力	6	60		79	13

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	17		
ﾌﾟﾘｰｽﾄ/“太陽神”ﾃｨﾀﾞﾝ	10		
マギテック	16		
セージ	12		
エンハンサー	6		

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34 p	魔法収束	IB39 p
鋭い目	2120p	魔法制御	IB32 p
弱点看破	2121p	曲射	FC27p
マナセーブ	2123p	デュアルアクション	FC27p
マナ耐性	3144p		p
精密射撃	218 p		p
狙撃	IB37 p		p
武器習熟A/ガン	IB31 p		p
命中強化	IB32 p		p
鷹の目	IB30 p		p
魔法誘導	IB32 p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
ドラゴン語	○	
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
ソレイユ語	○	
バジリスク語	○	○
ザルツ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ビートルスキン	
アンチボディ	
メディテーション	
スフィンクスノレッジ	
デーモンフィンガー	

名誉アイテム	点数
幼き超新星	25
微笑みを砕くもの	30
〝野心の皇帝、ユリウス・クラウゼ	1000
バスターライフル	50
名誉点 所持	817 /合計 1922

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	17	34	20	21

鎧と盾		必要ランク	必要筋力	必要回避力	防護点
鎧	マナコートプラス		1		9
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値		0	9

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ﾀﾞﾒｰｼﾞ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
バスターライフル 射程50m、装填3、魔法の武器化+2	2H	20	1	2d+ 37	10	40											
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
弾丸（12発）x10	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
非常食（お徳用）x10	○□□○□□
銀の弾丸x10	○□□○□□
活性弾(12発)x2	○□□○□□
3点魔晶石x9	○□□○□□

テント（五人用）	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 305216 G　　預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	19 m	57 m

回避	防護点
2d+ 0	9

HP
74

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 27	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 20	2d+ 30

MP
157

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	10	27			
魔動機術	16	33			

装備品		説明
頭	聖印	“太陽神”ティダン
耳	スポッタードール	＜狙撃＞時、命中を+4
顔	狩人の解析鏡	
首	マギスフィア（小）	＜クイックローダー＞
背中	マギスフィア（大）	＜アンチミサイルフィールド＞＜バーストショット＞＜スナイパーレンジ＞
右手	知力の腕輪	
腰	勇者の証【心】	
足	バレットポーチ	弾丸を24発まで収納可能
その他フローティングスフィア（大）		＜レーザーバレット＞＜ホーミングレーザー＞＜ターゲットサイト＞

装備品		説明
左手	器用の腕輪	

その他メモ

産まれて間もない頃に故郷の村が蛮族によって滅ぼされ、両親と死に別れる。両親は死する直前、産まれたばかりのミヒャエルを抱えて村の近隣にあった妖精の森に逃げ込んでいた。蛮族の追手から逃げられないと悟った両親はミヒャエルの生存に一縷の希望をかけ、彼を茂みの中に隠す。両親は別の場所へ蛮族を誘導する為に囮となり、死去。

その後、近辺を通りがかった妖精<オベロン>によりミヒャエルは保護され、育てられる。妖精の森の妖精達と四年の歳月を過ごしたミヒャエルは、森の外の世界に興味を持つようになる。育ての親であり、友である<オベロン>にその事を相談したが、猛反対を受けた。そのまま口論になり半ば喧嘩別れするようにミヒャエルは妖精の森を飛び出す。

そのままルキスラ帝国に辿り着くが、まともな食事を摂っていなかった彼はその場で行き倒れる。そこでティダン神官に拾われた彼はそのまま神官に育てられる事になる。一年の少しの間、魔動機術に興味を持ったミヒャエルはマギテック協会に通うと同時にティダン神殿に礼拝に行き、そこで庭師の仕事をしていた。

ある程度ミヒャエルがルキスラ帝国の生活に慣れた頃、一緒に住んでいた神官から冒険者になる事を勧められる。外の世界を知りたいと思い、妖精の森を飛び出した彼はその提案を受け入れ、神官の知り合いの冒険者の宿に向かう事を決める。その際に神官がその身に刻んでいた

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟